

「ネバタゴガエルお手玉であそぼう！」について

～お手玉あそびのビデオを制作し、こどもたちなどへの継承活動を開始します～

かつては世代間で継承されてきたお手玉あそびですが、現在、根羽村では、ごく一部の高齢者のみが知っている状況になってしまい、今の村のこどもたちは、お手玉あそびを全く知らない世代となってしまう状況にあり、このままでは村のお手玉文化が絶えてしまう危機にありました。そこで、ボランティア団体「天下杉」、高齢者介護予防教室「生き生きクラブ」有志、根羽村教育委員会は、協働で、お手玉あそびを映像化すると同時に、こどもたちへのお手玉継承活動を行うことになりました。

目的

- 1 ビデオ制作、教室訪問活動を通じて、子どもたちに「お手玉あそび」を継承していくこと
- 2 高齢者が昔親しんだ遊びのひとつである「お手玉」を通じて高齢者の介護予防、生きがいに貢献すること
- 3 ネバタゴガエルのお手玉を利用することによって高齢者有志グループ「生き生きクラブ」の活動を応援し、介護予防と高齢者の生きがいに活動を支援すること。
- 4 高齢者の手づくりであるネバタゴガエルを生かしたお手玉の特産品販売促進に貢献すること

事業内容

- 1 ビデオ「ネバタゴガエルお手玉であそぼう！～こどもたちに伝えたい」制作
出演・協力：ボランティアグループ「天下杉」、高齢者介護予防教室「生き生きクラブ」有志
制作・著作：根羽村教育委員会
ビデオの利用方法：小学校への寄贈、村ケーブルテレビでの放映
(村外在住者でも、希望者へは実費を負担していただければ、ビデオを提供いたします。)
- 2 「天下杉」によるお手玉遊び継承のための教室訪問活動
対象：根羽小学校全生徒
- 3 「天下杉」による高齢者の介護予防の一環としてのお手玉あそび慰問活動
訪問対象：介護予防教室 生きがいデイ参加者など

問合せ先：根羽村教育委員会 (0265-49-2111)